

インプラント上部構造のためのメタルボンド用合金

Esteticor Implant 76/58/32 エステチコールインプラント

インプラント補綴のためのメタルボンド用合金

“エステチコールインプラント”シリーズはインプラント補綴のために開発されたメタルボンド用合金です。

インプラント上部構造に用いる合金は、変形が発生しないものでなければなりません。

また、焼成中にも高い安定性を維持していることも必要です。

“エステチコールインプラント”シリーズはインプラント上部構造のロングスパンブリッジでパーフェクトフィットを実現できることが実証されています。



合金1種類あたりの標本は4つ。初めに荷重なしの状態での960℃で焼成する。



次に5gのプレシャスメタルで荷重をかけて焼成する。焼成温度は900℃と930℃の2回。



焼成後にそれぞれの合金の変形量を測定する。

CM社Sag-Resistance-Test

たわみ抵抗試験/サグ・レジスタンステスト

“エステチコールインプラント”のパーフェクトフィットを実証するのが、CM社“Sag-Resistance-Test(たわみ抵抗試験)”です。

この試験は合金に荷重を与えた状態で焼成を行い、合金の変形量を測定するものです。

“エステチコールインプラント”はこの試験で全項目において最大でも0.25mmという優秀な成績を収めています。

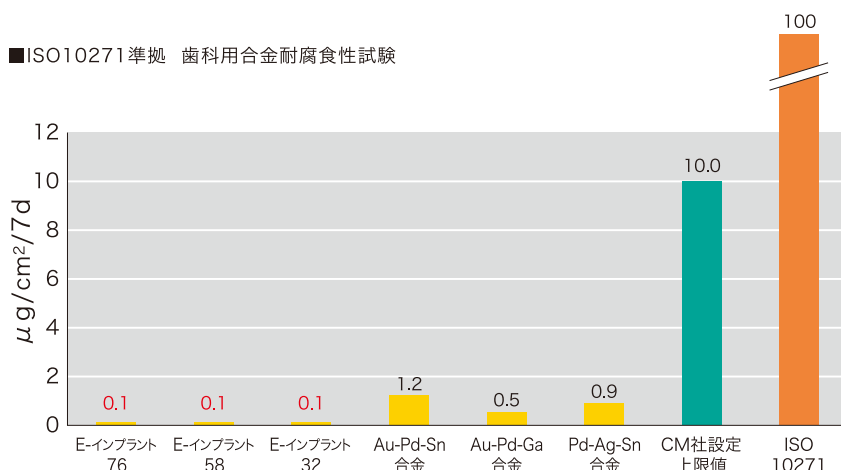
■Sag-Resistance-Test結果

合金	960℃荷重なし 変形(単位mm) (4標本の平均値)	900℃荷重5g 変形(単位mm) (4標本の平均値)	930℃荷重5g 変形(単位mm) (4標本の平均値)
エステチコール・インプラント76	0.13	0.18	0.25
エステチコール・インプラント58	0.01	0.03	0.16
エステチコール・インプラント32	0.01	0.05	0.18
Esteticor Lumina PF(CM社 Au84.5%)	0.27	0.36	1.38
Esteticor Special(CM社 Au77.3%)	0.12	0.30	0.61
Esteticor Sena PF(CM社 Au77.7%)	0.57	1.03	1.57
B・K(他メーカーA社 Au81.6%)	0.10	0.29	1.51
D・U(他メーカーB社 Au77.3%)	0.19	1.12	1.35
A・B(他メーカーC社 Au77.0%)	1.20	1.68	2.30

優れた生体適合性

“エステチコールインプラント”シリーズは、全ての種類においてプレシャスメタルの含有率が高く、耐腐食性に優れており、金属イオンの溶出量が少ないので生体適合性に優れています。歯科用合金の耐腐食性試験に関する国際基準、ISO10271に基づく試験では0.1 $\mu\text{g}/\text{cm}^2/7\text{d}$ 以下という結果が出ております。

■ISO10271 準拠 歯科用合金耐腐食性試験



ISO10271「歯科用合金耐腐食性試験」とは?

pH2.3の酸性溶液中にメタルを7日間浸し続け、溶出する金属イオンの量を測定する試験です。ヒトの唾液のpHは最も低いとされる食直後でもおよそpH4.5といわれておりますので、この試験の環境がいかに厳しいものが理解できます。